



森林セラピー通信
森のたより

のびのびスクスク大きくなあれ!

10月11日(日)に、昨年植樹をした木々の植え替え作業を行いました。「コウヤマキ」や、セラピー中の大事な「味」でもある「ヤマグワ」や「ヤマボウシ」をセラピーロード内に移植しました。これから雪の季節ですがスクスク育ってほしいものです。



秋の山野草が見頃です
森の中で足元に目をやると見つけれられるのが「ツルリンドウ」です。赤紫色の実を付けますが、その名の通り辿って

くと結構な長さのツルになっています。秋の時期の根茎は漢方薬になり咳止めとして重宝されていたようです。飯南町の昔遊びで、この実の中を出して風船のように膨らませて遊んでいたようです。



続いてこちらは「ユキザサ」です。山野草園の川沿いに群生しています。実は工事の関係で他のエリアからお引越してきたものもあつたのですが、土が合ったのかしっかりと根付いてくれました。6月初旬には雪のように白く可憐な花をつけ、秋になるととてもジュシー(そう)な深紅の実を付けます。この地方では分布域が限られますのでそっと見守りたいですね。



今年も開催!
光でつなぐ「いっしょにやん雪あり月」

飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会は、国道54号沿線の活性化を目的に、地域資源を生かしたさまざまなイベントなどの企画運営に取り組んでいます。



「飯南町の冬に人と人がつながる機会をつくりたい」という想いで始めた「いっしょにやん雪あり月」。今年も雪やキャンドル、イルミネーション、デコレーションツリーの光で町中をつなげていこうと考えています。雪遊びをしながらスノーキャンドルづくり、各地の雪あり月映像リレーなど盛り沢山。自宅から参加できるリモートイベントも企画しています。
※各種イベントの詳細はケーブルテレビ等で告知



さまざまな団体の皆さんと連携してきました

■問合せ
飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会「いっしょにやん雪あり月実行委員会(地域振興課内)」
電話 76・2864



この冬を一緒に楽しみましょう

俳句

琴峯俳句会 十月の作品から

橋の名に残る屋号や金木犀 安部 豊枝
片方には母ある思い月に佇つ 石田 シツカ
菊の香に包まれ今日も庭を掃く 垣内 良野
呼び止める顔影となる秋の暮 佐々木 康子
倒れたる菊引き起こす今朝の庭 田部 智津子
白菊や可愛さもまた寂しきも 土池 博子

目をつぶりあても秋めく中にゐる 朽木 豊子
ちちろ鳴く二人であても一人の夜 松平 富美子
十月のブラウスの袖まろやかに 八嶋 敏江
物置に母の輪台菊日和 山崎 智恵美
止まりて峠を越さず霧の海 八嶋 昭男

短歌

赤名短歌会 十月例会詠草

蜘蛛の巣に残れる蝶の黄の翅がはばたきそうな今日の秋晴れ 澤田 久美子
やつとこさあよ初めた孫の背にコスモスゆれてほほえみにけり 吉川 暎子
垣間見る荒廃水田布野掛合感謝す吾の地区集落栄農 澤田 勝登
満月の下同僚たちと語り合つコナ禍に射す輝く青春 岩見 桃子
空の色映して紫苑の花咲けり仰げば鬱の文字解ける 石田 フクエ
庭先で蝶の乱舞に立ち止まる集団見合い?桜散る(こし) 門所 詠子
慣れねばと思ふと街は表情の見えぬマスクのひとつの波 島田 勝信
コスモスの野末に群れて咲きおるをひとひらつつのあな いのちかな 清原 豊明
初めてのお粥は届きし新米とふまた見ぬ孫の重さどれほど 星野 敦子
郷愁をそる虫の音いつしかに消えて朝夕寒身に沁む 本間 麗子

すこやか

10月届出分

新生児 届出人 地区
砂田 理斗 恵斗(塩谷)
恒松 和奏 和真(赤名)
吉田 歎太 真也(頓原)
熊谷 暉生 龍之介(奥畑)

やすら

10月届出分

お名前 親族 地区
景山 敏明 登美男(町区)
岸 正 友明(町区)
奥田 正 理恵(赤名)
黒角 雅代 幸宏(町区)
舩田 マサヲ 幸伸(小田)
小林 房富 悟(真木)
永島 國雄 直美(敷波)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

やさしさで
包んでとかそう
つめたい言葉

赤名小6年 三上 護さん
家族名 三上 恭子さん

標語に込められた思いを町民みんな
で意識し、差別や偏見のない明るい
まちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

宙に舞うクモ※。派手に舞う悪狐。多くのお客さんと賑わうのは、広島県三次市にある飯南町交流物産館「いまるシエ」です。

この日は7周年記念祭。今年は飯南神楽団が駆け付けてくれました。演目は「悪狐伝」。コロナ禍の委縮生活を払拭するような演舞は大きな拍手に包まれていました。
※妖術を表す紙の糸

